



JASDAQ

平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ストライダーズ
代表者名 代表取締役社長 早川 良一
(JASDAQ・コード9816)
問合せ先 常務取締役兼CFO 若原 義之
電 話 03-5777-1891

特別利益及び特別損失の計上並びに

平成 28 年 3 月期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 27 年 11 月 5 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I 特別利益の計上

当社が保有する株式会社 ASIAN STAR の株式を売却したため、投資有価証券売却益 27 百万円を特別利益に計上いたします。

II 特別損失の計上

1. 投資有価証券評価損（個別決算・連結決算）

当社が保有する Chuo Senko (Thailand) Public Co., Ltd. の株式について、純資産が著しく下落したため、減損処理を行い、投資有価証券評価損 40 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 連結子会社株式の減損処理（個別決算）

当社の連結子会社である有限会社増田製麺について、大口顧客の自家製麺化等の影響により、当初想定していた事業計画を下回っていることを考慮し、事業価値を再評価した結果、同社株式の減損処理を行い、関係会社株式評価損 125 百万円を特別損失に計上いたします。

なお、個別決算で計上した特別損失は連結決算では消去され、「3. のれんの減損処理（連結決算）」に記述する特別損失が連結業績への影響額となります。

3. のれんの減損処理（連結決算）

個別決算において上記 2. の減損処理に伴い、連結決算において同社にかかるのれん償却額として 99 百万円を特別損失に計上いたします。

Ⅲ 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,500	百万円 280	百万円 270	百万円 178	円 銭 2.00
実績値（B）	5,046	297	277	135	1.52
増減額（B－A）	546	17	7	▲43	－
増減率（％）	12.1	6.1	2.6	▲24.2	－
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	3,642	87	83	73	0.86

（差異の理由）

売上高につきましては、不動産賃貸管理事業の株式会社トラストアドバイザーズにおいて、新規管理物件の獲得が順調に推移し、高い入居率を確保することができたこと。また、当期より開始したワンルームマンションの売買が想定を上回り順調に推移したことから、業績予想を上回る結果になりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記Ⅱの特別損失の計上により、業績予想を下回る結果になりました。

以 上